

Green Forum

グリーン五月祭特別号 発行 2005年4月8日

「CSRのルーツとグリーン五月祭」

環境経営学会企画広報委員長 大河喜彦

CSR(Corporate Social Responsibility)は、一般に「企業の社会的責任」と訳されることが多いが、個人的には、「企業の社会的信頼」と訳してほしいと思っている。すなわち、消極目的で受身型の「企業の社会的責任」を確保するというよりは、積極目的の経営として「企業の社会的信頼」を獲得していくというスタンスを重視している。

ところで、CSRのルーツは、どこに求めるべきであろうか。西欧ルネッサンスやカルビン派宗教改革がルーツであるとする向きもある。カルビン派宗教改革は、近代資本主義の礎とも言われており、勤勉、自己を伴する生活、隣人愛等は、社会的責任論に通じるとも言えそうである。また、江戸時代の近江商人道や武士道が日本のCSRのルーツであるとの説もある。近江商人道は、「売り手良し」、「買い手良し」、「世間良し」の「三方良し」を説いているのであるから、マルチステークホルダーの発想に近いとも言える。武士道の流れを持ち、生涯500以上の会社を設立した明治時代の経営者渋沢栄一は、「道德経済合一説」により、自社の利益と社会国家の利益との一体化を説いた。ただし、これらがCSRのルーツとするのは、後づけの感がぬぐえないのであり、現在のように、多くの企業経営者がCSR経営に取り組みざるをえなくなった直接的端緒は、ステークホルダーの構造的変化を背景にした地球環境問題(持続可能性)と考えるのが合理的ではないだろうか。その一例として、持続可能な発展をテーマにしたリオの地球サミット(国連環境開発会議)をあげることができる。もう一つの例として、日本の企業がもっとも利用しているGRIサステナビリティレポートガイドラインをあげることができる。その原型は、海洋汚染がきっかけで1989年に制定された「バルデイズ原則」及び1993年に制定された「セリーズ原則」である。

歴史的には、米国で1971年に経済開発委員会が「企業の社会的責任」の報告を公表し、日本でも1973年に経済同友会が「社会と企業の相互信頼の確立を求めて」との提言を公表する中で、CSR又は企業の社会的責任という用語は使われ始めたが、CSRについての本格的認識は、90年代以降のことである。

環境経営学会は、2000年10月に発足し、2001年5月に第1回研究報告大会(グリーン五月祭)を開催して以来、本年で5周年を迎えた。また、去る2月16日に京都議定書が発効したこともあり、本年のサブテーマを「気候変動とCSR経営」とさせて頂いた。ということで、本年のグリーン五月祭は、現下の情勢を意識した企画も多い。すなわち、特別講演、記念講演、基調講演のほか、パネルディスカッションとして、「生物多様性とCSR」、「気候変動とCSR経営」、「“ポスト京都”に向けて一京都議定書発効後の我が国の課題一」及びシンポジウムとして「CSRと環境経営格付—明日の展開を問う—」が予定されている。これを機会に、ブームに惑わされない真のCSR経営とは何かについて改めて考えてみてはいかがだろうか。

第5回グリーン五月祭 2005年研究報告大会 環境経営学会第5回定期総会

参加費

区分		一般	院生・学生
参加費	会員	5,000円	2,000円
	非会員	8,000円	
	懇親会費 5月20日(金)	5,000円	

(備考)当日は報告論文集を配付致します。参加費は、原則として事前振込でお願いします。(振込用紙の通信欄に会員・非会員・学生の該当する区分と、さらに懇親会に参加される方は、「懇親会参加」の旨をお書きになり、既定の参加費をお振込ください)なお、止むを得ない事情がある場合には当日支払いも受け付けます。

<五月祭参加費専用振込先>

UFJ銀行虎ノ門支店 (普)1144491 トクヒ)カンキョウケイエイガッカイ

環境経営学会第5回定期総会のご案内

日時：5月20日(金) 12:00～12:30

場所：国際連合大学ウ・タント国際会議場2F

議題 ①平成16年度活動報告及び決算報告 ②平成17年度事業計画及び予算案審議
③平成17年度役員人事について ④その他

理事会のご案内

日時：5月13日(金) 15:00～16:00

場所：東京機械本社ビル会議室

一般講演募集

第5回グリーン五月祭
2005年研究論文発表募集

上記グリーン五月祭に研究論文又は、一般講演及びエコテクノロジー(商品・システム等)を発表ご希望の方は下記内容を記載の上、郵送、E-mail等により事務局までお申し込みください。審査の上採否通知いたします。

- 報告テーマ
- その要旨(A4・1ページ程度)
- 氏名・所属・連絡先(TEL・FAX・E-mail)

締切：2005年4月15日

宛先：特定非営利活動法人環境経営学会事務局

第5回グリーン五月祭事務局宛

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-11虎の門林ビル3階

TEL/FAX：03-5521-1501/1502

E-mail：green5@smf.gr.jp http://www.smf.gr.jp

発行：特定非営利活動法人環境経営学会事務局

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-15-11虎の門林ビル3階

TEL/FAX：03-5521-1501/1502

E-mail：ofc@smf.gr.jp

http://www.smf.gr.jp



第5回グリーン五月祭開催のお知らせ

第5回グリーン五月祭の開催日程および内容が決定いたしましたのでお知らせいたします。
今回は環境経営学会が2000年10月に発足し、2001年に第1回グリーン五月祭を開催して以来、本年で5周年を迎えた記念すべき研究報告大会です。多くの方々のご参加を期待しております。会員以外の方をお誘い頂くためにプログラムが必要な方は事務局までお申し出ください。

[開催日時] : 2005年5月20日(金) - 21日(土) 9:30～
[開催場所] : 国際連合大学ウ・タント国際会議場
[主催] : NPO法人環境経営学会
[協力] : 国際連合広報センター

[メインテーマ] : サステナビリティと企業の役割
[サブテーマ] : 気候変動とCSR経営

[プログラム]

総合司会: 井上昌美

5月20日(金)

会長講演 9:30-10:00

三田 和美 (環境経営学会会長)

特別講演 「京都議定書発効と今後の取組」 10:00-10:45

松本 省蔵 (環境省地球環境審議官)

記念講演 「気候変動と文明の係わり」 10:45-12:00

安田 喜憲 (国際日本文化研究センター教授)

学会総会 12:00-12:30

休憩 (昼食) 12:30-13:15

パネルディスカッションⅠ 「生物多様性とCSR」 13:15-15:15

コーディネーター: 岡本 亨二 (環境経営学会理事)

パネリスト: 林 良博 (東京大学副学長)

安田 喜憲 (国際日本文化研究センター教授)

難波 菊次郎 (アースウォッチジャパン理事長)

休憩 15:15-15:30

パネルディスカッションⅡ 「気候変動とCSR経営」 15:30-17:30

コーディネーター: 井上 壽枝 (環境経営学会常任理事)

パネリスト: 細田 衛士 (慶応義塾大学経済学部長)

加藤 三郎 (NPO法人環境文明21代表理事)

筑紫 みずえ (株式会社グッドバンカー代表取締役)

須永 徹 (株式会社ジャパンビバレッジ環境推進部長)

懇親パーティー (国際連合大学2Fレセプションルーム) 17:40～

5月21日(土)

- 基調講演** 「CSR経営の現状と展望」 9:30-10:15
廣瀬 博 (社団法人日本経済団体連合会社会的責任経営部会長)
- 基調講演** 「京都メカニズムについて」 10:15-11:00
松橋 隆治 (東京大学大学院新領域創成科学研究科教授)
- 基調講演** 「企業統治とCSR情報開示について」 11:00-11:45
上妻 義直 (上智大学経済学部教授)
- 学会賞授与式** 鈴木 幸毅 (環境経営学会副会長) 11:45-12:00
- 休憩 (昼食)** 12:00-13:00
- パネルディスカッションⅢ** 13:00-15:00
「“ポスト京都”に向けて-京都議定書発効後の我が国の課題-」
コーディネーター:青木修三(環境経営学会常任理事)
パネリスト:織 朱實(関東学院大学法学部助教授)
鎌形 浩史(環境省総合環境政策局環境経済課長)(予定)
青山 周(社団法人日本経済団体連合会環境グループ長)
浅田 浄江(ウイメンズ・エナジー・ネットワーク代表)
- 休憩** 15:00-15:15
- 一般講演 (エコテクを含む)** 座長:草川 紀久(環境経営学会理事) 15:15-16:15
- シンポジウム** 「CSRと環境経営格付-明日の展開を問う-」 16:15-18:15
座長:木俣 信行 (環境経営格付機構理事長)
- (1) 主旨説明・経過報告
- (2) ベストプラクティスにみるCSR経営の実態と格付による評価の意味
川村 雅彦 (環境経営格付機構格付推進委員会副委員長)
- (3) 製造業の立場から見た環境経営格付の課題と期待
鈴木 道彦 (旭硝子株式会社社会環境室主幹)
- (4) 非製造業の立場から見た環境経営格付の課題と期待
上山 静 (イオン株式会社環境・社会貢献部長)
- (5) 韓国における環境経営の現状と課題
Ki-Hoon Lee (Kwang Woon University教授)
- (6) 東南アジアにおける環境経営への関心
九里 徳泰 (中央大学研究開発機構助教授)
- (7) CSR経営格付が持続可能な社会の構築に貢献するための課題
足立 直樹 (株式会社CSR経営研究所取締役)
- (8) シンポジウムのまとめ
- 閉会挨拶** 18:15-18:20